

# 令和元年度 自己評価結果公表シート

作成: 幼保連携型認定こども園 神童幼稚園

## 1、本園の教育目標

本園は、「平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成」をめざします。毎朝90分間の時間・空間・仲間・ゆとりの間を保障した「のびのび充実保育」を通して自立・自律心を養い、幼児の興味関心に沿った遊びや生活を展開し、仲間との協同の活動に発展する保育をめざします。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

・業務改善に向けた ICT 導入とキャリアラダーの整備      ・分園の整備

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・業務改善に向けた ICT 導入とキャリアラダーの整備	・保育教諭の業務量減量を目的に、各クラスにタブレット端末を配備し園児出欠管理、日誌・計画案作成、職員間連絡用に保育者向けクラウドシステムを導入し活用を始めた。 ・また、保育経験に応じたキャリアラダー各段階での到達目標を「見える化」し、職員に理解し易く整理するために専門アドバイザーを招き各段階の職員と共に目標設定作業を始めた。
・分園の整備	・保育所等整備補助金を活用しての分園整備故に令和元年度中の引き渡し、令和2年4月開所が必須であった。工事終盤でのコロナ禍により衛生備品の一部に納品遅れが生じたが代替で対応、また工事従事者に幸い感染者もなく無事4月開所を迎える事が出来た。

## 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

幼保連携型認定こども園化により増加する保育教諭が、本園の理念、特色ある教育方法、子ども観察力やより高度な保育技術を習得出来るように、ICT 導入のみならず、先輩職員によるノウハウ動画の作成も着手したことで、管理者だけではなく職員全体で業務改善や保育力向上に取り組む流れを創れたを生み出した点は評価できる。

## 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
キャリアラダーの目標値の精選	・専門アドバイザーとの協力で更に現場に即した目標値を設定する。 ・目標を見える化することで新規人材確保でのアピールポイントを高める。
今後増加する2号認定こどもの居場所確保と保育内容の改善を図る	・2号だけではなく新2号こどもの増加にも対応するために彼らの居場所(保育室)と課外教室、それぞれの利用保育室のバランスを検討する。 ・長時間保育児の増加に伴い、教育時間に続く2時以降の保育内容に連続性とゆとり感を持たせた計画を作成する。

## 6、財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められています。

以上